

農山漁村地域整備計画評価調書(事前評価)

1 計画の概要

計画の名称	かごしまの地域水産基盤づくり(本土)計画	
計画策定主体	鹿児島県	
対象市町村	垂水市, 南さつま市, 南大隅町, 指宿市, いちき串木野市, 長島町	
計画期間	平成22年度から平成26年度 (5年間)	
計画の目標	「かごしま将来ビジョン」に掲げた「おさかな王国かごしま」の実現に向け、水産業の振興と漁村の活性化を図るため、以下の目標に取り組む。 1. つくり育てる漁業の推進 漁場については、持続的・安定的な漁業生産の実現に向けて、水産資源の回復と適切な管理を推進するために、水産生物の生育場として重要な藻場の復元及び創造のための漁場の整備を推進する。 2. 漁港・漁村の整備と漁村地域の活性化 漁港については、より安全で使いやすい漁港づくりを推進するため、必要な漁港施設の整備を行う。 海岸については、自然環境にも配慮した県土保全のため、必要な海岸施設の整備を行う。 また、漁村については、防災力の強化や生活環境の改善を推進するため、必要な漁村の生活環境改善施設の整備を行う。	
評価指標	1. 「つくり育てる漁業の推進」の定量的指標 ①藻場の復元及び創造 長島町など4地区の藻場の生息面積を1.65ha造成し、これにより、マダイ2トン、海藻類15トンの増産を図る。(長島町, 垂水市二川, 指宿市, いちき串木野市地区) 2. 漁港・漁村の整備と漁村地域の活性化の定量的指標 ①安全で使いやすい漁港づくりの推進 間泊地区など6地区で漁港施設を整備し、安全で使いやすい区域を8.2ha(陸域1.6ha, 水域6.6ha)拡大する。(小湊, 川尻, 伊座敷, 羽島, 戸崎, 間泊, 観音地区) ②自然環境にも配慮した県土保全 久志漁港海岸と海潟漁港海岸で海岸施設を整備し、高潮や波浪等による越波浸水被害から防護された区域を0.9ha拡大する。 ③防災力の強化と生活環境の改善 坊泊地区の生活環境改善施設を整備し、生活環境が改善された区域を31.3ha拡大する。 ④漁業活動の効率化及び就労環境の改善 葛輪地区の漁業活動車両等の効率化及び就労環境の改善を図る漁港関連道を590m整備する。 ※ 川尻漁港など5地区(川尻, 伊座敷, 羽島, 戸崎, 間泊地区), 久志・海潟漁港海岸及び坊泊地区の事業内容は、地域自主戦略交付金事業より移行した部分と重複しているため、本計画期間に完了しない地区については、事業完了時に併せて地区評価を行う。	
対象事業	地域水産物供給基盤整備事業 6地区 漁港漁村環境整備事業 2地区 海岸保全施設整備事業 2地区 水域環境保全創造事業 4地区 効果促進事業 1地区	漁港関連道整備事業 1地区
全体事業費	(3,137,440) 2,869,799 千円	

2 評価

(要領第5の1に定める各号)

項目	評価事項	評価
(1) 目標の妥当性	本計画の目標は、「かごしま将来ビジョン」に掲げた「おさかな王国かごしま」の実現に向けて、県として取り組んでいる水産業振興施策と整合していることから、妥当な目標である。	○
(2) 整備計画の効果・効率性	1. 「漁港・漁村の整備と漁村地域の活性化」を目標として、漁港については、漁港の安全性・効率性を図るための施設整備を計画し、より安全で使いやすい区域の拡大を指標としている。 また、自然環境にも配慮した漁港背後の漁村の住民の生命・財産を守るための海岸の整備を計画し、この効果としての防護面積の拡大を指標としている。 さらに、漁村については、生活環境の改善等を図るための施設整備を計画し、生活環境の改善された区域の拡大を指標としている。 2. 各指標については、事業の実施により効果が発現されるものである。 3. 本計画の実施にあたっては、関連する他の計画とのバランスを考慮しつつ5箇年とする。	○
(3) 整備計画の実現可能性	地元要望に基づき計画されたもので、地元漁協や地域住民等の協力が得られること、円滑な事業執行体制には支障が無いことから、実現の可能性は高い。	○

3 評価結果

計画は、農山漁村地域整備交付金実施要領 第5の1に定める各号を満たしている。

農山漁村地域整備計画評価調書(事前評価)

1 計画の概要

計画名称	かごしまの地域水産基盤づくり(離島)計画
計画策定主体	鹿児島県
対象市町村	薩摩川内市,屋久島町
計画期間	平成22年度から平成24年度 (3年間)
計画の目標	「かごしま将来ビジョン」に掲げた「おさかな王国かごしま」の実現に向け、水産業の振興と漁村の活性化を図るため、以下の目標に取り組む。 ・<u>漁港・漁村の整備と漁村地域の活性化</u> 漁港については、より安全で使いやすい漁港づくりを推進するため、必要な漁港施設の整備を行う。 また、漁村については、防災力の強化や生活環境の改善を推進するため、必要な漁村の生活環境改善施設の整備を行う。
評価指標	・<u>漁港・漁村の整備と漁村地域の活性化</u>の定量的指標 ①安全で使いやすい漁港づくりの推進 栗生地区の漁港施設を整備し、安全で使いやすい区域を0.4ha(水域)拡大する。 ②防災力の強化と生活環境の改善 手打地区の漁業集落排水施設を整備し、生活環境の改善された区域を50.9ha拡大する。 ※なお、栗生及び手打地区の効果区域は、平成23、24年度に実施した地域自主戦略交付金事業と平成22年度に実施した農山漁村地域整備交付金事業で実施した事業内容を含めて評価する。
対象事業	地域水産物供給基盤整備事業 1地区 漁業集落環境整備事業 1地区 効果促進事業 1地区
全体事業費	481,260 千円

2 評価

(要綱第5の1に定める各号)

項目	評価事項	評価
(1) 目標の妥当性	本計画の目標は、「かごしま将来ビジョン」に掲げた「おさかな王国かごしま」の実現に向けて、県として取り組んでいる水産業振興施策と整合していることから、妥当な目標である。	○
(2) 整備計画の効果・効率性	1. 「漁港・漁村の整備と漁村地域の活性化」を目標として、漁港については、漁港の安全性・効率性の向上を図るための施設整備を計画し、安全で使いやすい区域の拡大を指標としている。 また、漁村については、生活環境の改善等を図るための施設整備を計画し、生活環境の改善された区域の拡大を指標としている。 2. 各指標については、事業の実施により効果が発現されるものである。 3. 本計画の実施にあたっては、関連する他の計画とのバランスを考慮しつつ3か年の計画を策定しており、個々の事業についても効率性を追求しながら実施することとしている。	○
(3) 整備計画の実現可能性	地元要望に基づき計画されたもので、地元漁協や地域住民等の協力が得られること、円滑な事業執行体制には支障が無いことから、実現の可能性は高い。	○

3 評価結果

計画は、農山漁村地域整備交付金交付要綱第5の1に定める各号を満たしている。

農山漁村地域整備計画評価調書（事前評価）

1 計画の概要

計画の名称	かごしまの地域水産基盤づくり（奄美）計画
計画策定主体	鹿児島県
対象市町村	奄美市，大和村，天城町，知名町
計画の期間	平成23年度から平成26年度（5年間）
計画の目標	「かごしま将来ビジョン」に掲げた「おさかな王国かごしま」の実現に向け、水産業の振興と漁村の活性化を図るため、以下の目標に取り組む。 1. 漁港漁村の整備と漁村地域の活性化 漁港について、より安全で使いやすい漁港づくりを推進するため、必要な漁港施設の整備を行う。 海岸について、自然環境にも配慮した県土保全のため、必要な海岸保全施設の整備を行う。
評価指標	・漁港・漁村の整備と漁村地域の活性化の定量的指標 1. 漁港・漁村の整備と漁村地域の活性化 ①自然環境にも配慮した県土保全 知名漁港海岸で海岸施設を整備し、高潮や波浪等に越波浸水被害から防護された区域を0.3ha拡大する。 ②安全で使いやすい漁港づくりの推進 和瀬地区など5地区の漁港施設を整備し、安全で使いやすい区域を1.6ha（陸域0.8ha, 水域0.8ha）拡大する。（和瀬，今里，松原，大熊，知名地区）
対象事業	漁港漁村環境整備事業 5地区 海岸保全施設整備事業 1地区
全体事業費	(964,057) 530,448 千円

2 評価

（要領第5の1に定める各号）

項目	評価事項	評価
(1) 目標の妥当性	本計画の目標は、「かごしま将来ビジョン」に掲げた「おさかな王国かごしま」の実現に向けて、県として取り組んでいる水産業振興施策と整合していることから、妥当な目標である。	○
(2) 整備計画の効果・効率性	1. 「漁港・漁村の整備と漁村地域の活性化」を目標として、漁港については、漁港の安全性・効率性を図るための施設整備を計画し、より安全で使いやすい区域の拡大を指標としている。 2. 指標については、事業の実施により効果が発現されるものである。 3. 本計画の実施にあたっては、関連する他の計画とのバランスを考慮しつつ5ヶ年の計画を策定しており、個々の事業についても効率性を追求しながら実施することとしている。	○
(3) 整備計画の実現可能性	地元要望に基づき計画されたもので、地元漁協や地元住民の協力が得られること、円滑な事業施行体制には支障がないことから、実現の可能性は高い。	○

3 評価結果

計画は、農山漁村地域整備交付金実施要領 第5の1に定める各号を満たしている。